

乳幼児との触れ合い体験を通して、 自分の育ちを振り返ろう

生活を工夫し、創造し、社会でよりよく生きる力を育てる指導過程はどうあればよいか。

— 新学習指導要領の趣旨に沿った指導過程の工夫 —

題材名「わたしの成長と家族や周囲の人びと」

本題材では、幼児に関する学習の導入段階として位置づけ、触れ合い体験的活動を取り入れた。そこから乳幼児に興味・関心をもたせ、自分の成長と家族とのかかわりや今まで支えられて育ってきたことに気付かせたい。

1. 触れ合い体験に期待すること

生徒は、現状では乳幼児に接する機会が少なく子どもが育つ過程を目の当たりにすることも少ない。生徒が今後の生活を主体的に送っていくためには、乳幼児期からの成長発達の過程や家族の愛情が現在の自分を育て、将来の自立につながっていくと気付かせることが重要である。このようなことから、地域に住む乳幼児やその母親と実際に接する活動を取り入れ、自分の乳幼児期や育ててくれた家族や周囲の人たちへの理解を深める学習に取り組むことは意義の深いものであると考え、本題材に取り組んだ。

以下は、この取り組みにかける願いである。

- ①家族と家庭生活の学習をより身近な題材としてとらえるために、乳幼児や保育者と直接触れ合う機会を設けたい。
- ②親がどんな思いで子育てに臨んでいるか、生の声を聞かせたい。
- ③乳幼児と直接触れ合うことで、自分の幼いころと重ね合わせ中学生になるまでの育ちを振り返るきっかけとしたい。

2. 触れ合い体験の実現に向けて

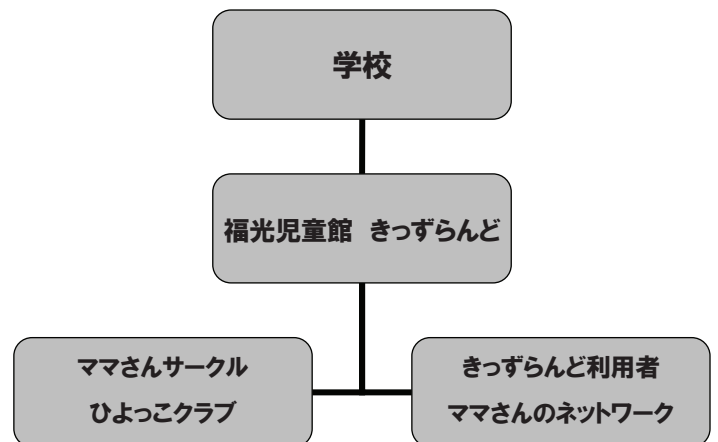
地域の児童館と連携し、授業に参加してもらえる家族を募集した。学校側の願いとして、各クラス6人の乳幼児とその家族の参加を提示した。児童館に来館する家族は、おおむね昼に動きやすく、17家族が参加を了承してくれた。各家庭の都合に合わせ、3クラスの授業と調整し、6～8人の乳幼児の来校にこぎつけ

た。中学校の授業時間中に来校できる乳幼児は保育園に行っていない3歳未満児に限られる。今回は生後2か月から2歳9か月までの乳幼児の来校となった。

ママさんサークルの中に、授業への参加に関心の高い方がいて、呼びかけをしてくださったのが多数の参加を可能にした大きな要因となっている。

また、児童館も協力的で、学校とママさんサークルの仲立ちや日程の調整、授業当日の玩具の貸し出しやママさんたちの付き添いもしてくださった。ママさんたちも、初めて入る中学校だったが、児童館の職員の方が付き添って来られることで安心して来校された。

生徒も、幼いころから親しんできた児童館の職員の方がその場にいてもらえるので、抵抗感が軽減され、和やかな雰囲気の中、活動に入っていた。



資料1 地域とのネットワークのあり方

3. 授業実践

本題材は3時間扱いとした。

1時間目：「わたしの『成長のあしあと』レポート」の作成を通して幼児期を振り返る。

2時間目：「乳幼児とのふれあい体験」「ママさんへのインタビュー」では乳幼児と家族の結び付きや子どもに対する親の思いなどに直接触れさせる。

3時間目：「中学生になるまで」のワークシート記入と「ママさんへのメッセージカード」の作成を通して、親が子どもに寄せる気持ちを思い浮かべさせ、自分と家族のかかわりをまとめる。

①幼児との触れ合い体験の実践例（2時間目）

【本時の課題 赤ちゃんやママさんと触れ合おう】

5～6人のグループに親子が1組ずつ入り、生徒全員が乳幼児を抱くように活動を設定した。授業の導入段階で、触れ合い体験で注目してほしい内容を示したワークシートを配布した。

体験活動1 「ママさんにインタビュー」



1時間目に考えたインタビュー項目をママさんに聞き、ワークシートに記入する。一人1項目、質問した。

体験活動2 「赤ちゃんとおぼろ」



インタビューしたママさんの子どもとおぼろ。左の赤ちゃんは生後2か月。ミルクを飲ませたりおむつを替えたりした。

赤ちゃんの抱き方も教えてもらいうちにママさんとの距離も縮まった。赤ちゃんの柔らかさや頼りなさに触れた。乳幼児に気に入ってもらえる接し方や泣いた時の対処の仕方を習い、何とか喜んでもらおうとしていた。乳幼児の疲れ具合も考慮し、30～40分で触れ合い活動を終えた。

②触れ合い体験を終えて（3時間目）

触れ合い体験時のメモをもとに、まとめをした。

中学生になるまで
2年 / 組 45番 氏名

乳幼児とのふれあい体験から、子どもと家族とのつながりについて考えていこう。

- インタビューから、ママさんやパパさんが子どもを育ててくれたこと、自分自身も成長したことを思い出して書いてください。
- ママさんと一緒にいるとき、子どもはどんな様子でしたか。
- 自分たちと子供がふれあっている時、ママさんやパパさんがどんな様子でしたか。
- ママさんと子供の結びつきについて、思ったことや感じたことを書いてください。
- あなたが中学生になるまで、育ててくれた家族を思い浮かべてください。今まで育ててくれた家族は、どのような思いであなたを育ててくれたのでしょうか。家族の気持ちを想像して書きましょう。どんな家族に対する今のあなたの気持ちを書きましょう。

家族の気持ち
自分自身

資料2 まとめワークシート

4. まとめ

触れ合い体験後、75%の生徒が幼児への関心が以前より高まったと答えている。乳幼児と触れ合う機会を通して、生徒は関心をもって学習に取り組み、家族の気持ちや子どもを育てる家庭の意義も実感できた。接した乳幼児や母親に、自分を育ててくれた家族の思いを投影していた。

児童館の「地域の子どもは、地域が育てる。」という思いが今回の実践を大きく支えてくださったことに感謝の気持ちでいっぱいである。無理を承知の上で児童館に相談に行ったところ、快諾していただき、更に中学生と乳幼児の接し方へのアドバイスまでしてもらった。やろうと思ったら、まず、行動。今後とも地域との連携を大切に、実践を積んでいきたい。

参考文献・参考Webページなど

- ・中学校学習指導要領解説「技術・家庭科」（文科省）
- ・技術・家庭「家庭分野」学習指導書（開隆堂）